

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4



復興まちづくりへ向けた取組み

球磨村において、自分たちの地域をより良いものにするために、住民ひとりひとりが、地域の将来像や具体的なまちづくりについて考え、行政、関係者らとアイディアを出し合いながら、それぞれが納得する復興をめざす「地域別協議会」が開催されています。

地域別協議会 開催実績(10月末日時点)

地区	回数	参加総数	地区	回数	参加総数	地区	回数	参加総数
神瀬	5回	274人	小川	1回	20人	今村	2回	28人
峯・島田	3回	84人	山口	2回	62人	舟戸	2回	55人
茶屋	2回	65人	地下	2回	46人	一勝地 (8区・12区)	2回	47人



神瀬地区協議会



山口地区協議会



峯・島田地区協議会

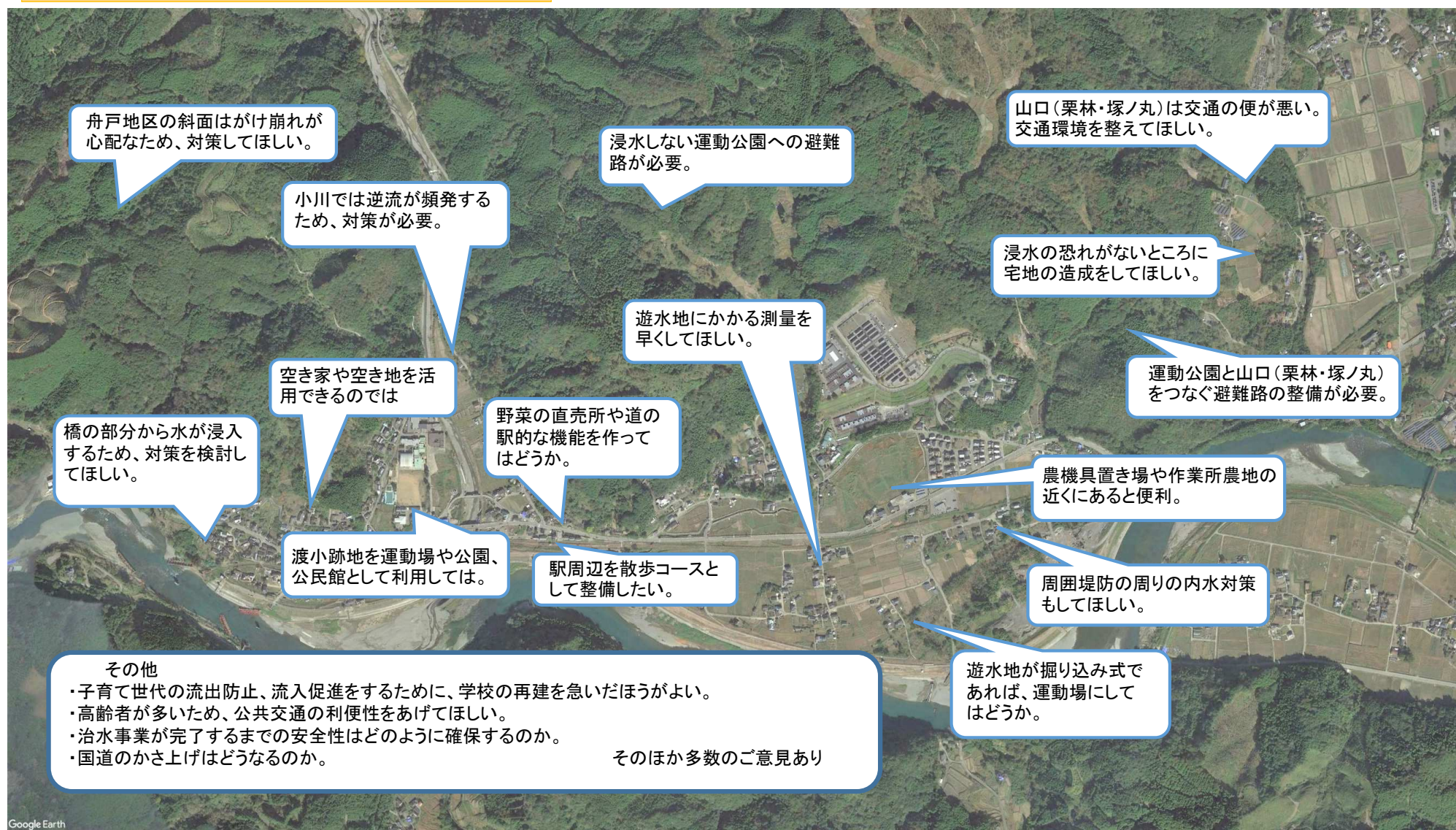
球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4



問合せ先 球磨村役場 復興推進課 0966-32-1114

復興まちづくりへ向けた取組み

渡地域の協議会で出た意見(一例)



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4



国土交通省

熊本県

球磨村

復興まちづくりへ向けた取組み

問合せ先 球磨村役場 復興推進課 0966-32-1114

渡地区 復興まちづくり計画骨子

- 令和2年7月豪雨災害により、移転が必要となった住民に対して、防災集団移転促進事業等を活用することによる**移転団地の整備を行い、生活再建を支援**
- 渡地域の将来を見据え、学校施設、高齢者福祉施設、防災施設等の集約や居住エリアとの接続を考慮した**コンパクトな地域づくりを目指す**

小川地区周辺の民地の利活用

- 集落内の民地を有効活用し、移転希望者に向けた宅地としての整備を検討
- 今後の災害への備えとして、安全な避難場所を確保

※引き続き協議会で地区の声を聞き検討を進めます

渡地区におけるこれまでの協議会での意見を踏まえ、10月15日に開催された「渡地区復興まちづくり計画及び治水対策に関する説明会」にて、復興まちづくりの現時点でのイメージ図をお示しました。

10月15日案

総合運動公園敷地内

- 被災した**学校施設**や**高齢者福祉施設**を移転再建
- 地域の防災拠点としての機能を想定
- 木造仮設住宅を村有住宅として活用することを検討

※整備に向けて

- 現在、敷地内に建設されている仮設住宅については、**入居者の再建スケジュールを確認しながら順次集約を行う**
- 予定している各種施設の配置については、今後検討を進める

移転再建

渡小学校・千寿園移転後の跡地のまちづくりを検討

小川地区周辺の民地の利活用を検討

渡駅周辺のまちづくりを検討

運動公園を
結ぶ避難路

小川地区内へ移転

遊水地

災害公営住宅
山口・峯居住エリア等へ移転運動公園～山口(栗林・塚ノ丸)地区を
結ぶ避難路山口(栗林・塚ノ丸)
居住エリア

村有住宅等

災害公営住宅

- 総合運動公園内に災害公営住宅(集合住宅形式)を整備
- 令和5年度中の入居開始を予定

【整備イメージ】



益城町災害公営住宅

山口(栗林・塚ノ丸)居住エリア

- 新たな宅地の整備(防災集団移転促進事業の活用等を検討)
- 遊水地エリアを含む、村内他地区から移転を想定
- 令和5年度中の供用を目標に整備
- 土地造成後に村有住宅の建設(R5以降)を検討
- 総合運動公園間の避難路を整備

【整備イメージ】



峯(尾緑)居住エリア

- 治水対策後の安全性を考慮した新たな宅地の整備
- 遊水地エリアを含む、村内他地区から移転を想定
- 堤防の高さでの高上げを実施予定
- 治水対策の進捗に合わせて整備スケジュールを検討

○遊水地

- 洪水時に、河川から水を流入させて一時的に貯留し、流量の調節を行うもの

【整備イメージ】

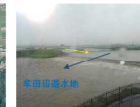
(掘削方式の場合)

スポーツ公園等



(地設備方式の場合)

平常時は農地として活用、洪水時に一時的に水を貯留

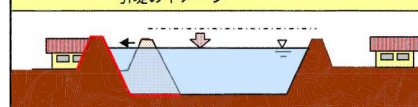


○引堤

- 堤防を引くことにより、堤防間の流下断面積を増大させるもの

【整備イメージ】

引堤のイメージ



渡小学校・千寿園移転後の跡地、渡駅周辺のまちづくり

- 渡地域にのびる掘削に由来、移転後の渡小学校・千寿園跡地や、球磨川の玄関口である渡駅周辺のまちづくりを検討

※引き続き協議会で地区の声を聞き検討を進めます